

5/26

生協コース

5/29

大阪府立大学生生活協同組合 組合組織部情報宣伝部発行

全市大の組合員諸君へ

70年代の生協運動に大きく影響を与えている熊本大生協解体策動について報告したい。熊本大学に於いて昨年の大学斗争の端緒を切り開いた水光費撤廃斗争は、大学当局、権力が一体になった形での露骨な攻撃の前に一定程度の後退を余儀なくされている。そして、我々は次の事を認識せねばならない。オーに、熊大生協の斗争に勝利するのか、否かは、70年代の生協運動が自滅の道を歩むか、それとも生活防衛の砦として確固たる地位を築きあげるかの決定的なメルクマールとして存在する。オ二に、熊大生協斗争が極めてダイナミックに展開され、かつ個別生協斗争の中では最も突出した闘いであつたが故に当局、権力の集中的な攻撃を受けたのである以上、我々はオ二、オ三の熊大生協の闘いを創り出し、その斗争の地平を継承しなければならぬ。そうした闘いこそまさに、現在の生協に突きつけられている最大の課題であるのだ。

組合員諸君へ。ここで再び想起しよう。現在、「自治会作り」に狂奔している諸君がかつての斗争の最大の妨害者として登場し、立命館大学にあつては校運動の最良の協力者として、斗争盟友に投石したことを。

彼らにとつて自治会作りが思つる通りに進展していない現在、自治会に代りうる公的機関、即ち生協を乗取らんとしているのだ。しかも、生協運動とは全く関係のない時点で、単なるセクト的利益によつてのみ介入せんとしている。

現在、生協が水光費を支払っていないという理由で、大学当局は生協事業場不貸与という弾圧をかけてきている。こうした状況に対して、我々は熊本大学生協が切り拓いた地平を歴史的に継承し、徹底した組合員の生活防衛を図るという、強固な斗争部隊を創出し、水光費、学館斗争を全組合員の規模で取り組まねばならぬだろう。

全市大の組合員諸君へ。単なる経営危機の乗り切りといったような問題に矮小化することなく、この水光費斗争を非協同的に闘い抜かなければならない。そして、学館斗争を「書写真公闘」といったものに矮小化してはならない。

◎ 水光費不払を理由とした、大学当局による生協排除策動を粉碎し、水光費免除をかちとれ。

◎ 全組合員の総結集で、学館斗争に勝利せよ。

◎ 28日、「水光費不払貫徹」・「学館斗争勝利」全学総決起集会に、全ての組合員は結集せよ。

◎ 全ての組合員は、生協組織部に結集し水光費斗争・学館斗争と闘い抜け。

生協解体策動を粉碎し、水光費斗争を全組合員の結集で闘い抜け！

28日 水光費不払貫徹 学館斗争勝利 全学総決起 (1時210)